

子どもたちの「生きる力」を育むために

Action (アクション)

～地域全体で子どもたちを支え、まちを元気にする一歩を踏み出そう～



「これからの地域と学校の在り方やつながり方」について、真剣に考えようと思っているんだけど、なかなか機会がないのよねえ～。そういえば、この前の…

『地域学校協働活動セミナー』って どんな研修だったのかしら？

『地域連携』に関する研修って管理職が参加するイメージ…。私が参加してもよかったのかしら？



セミナーに参加していない若手教職員

浅口市立寄島小学校の安田校長にコミュニティ・スクールと地域学校協働本部を活かした寄島学園の実践を紹介してもらいました。

寄島学園コミュニティ・スクール

学ぶ力も
心の力も
体力も
みなさんの安全も

先生と保護者と地域の方が力を合わせて育てていく学校

がっこう うんえい きょうぎかい
学校運営協議会
(よりしま魅力化推進協議会)

ちえ
みんなを育てるための知恵を出し合う

おうえんだん
学校の応援団



素敵な学校だわ～

学校では、代表委員会やクラスや委員会の代表が、よりよい学校づくりのために、全校児童の意見をもち、アイデアをだし、取り組んでいます。

学校運営協議会では、先生や保護者、地域の方の代表が、子どもたちに、学ぶ力だけでなく、**子どもの力が育つ**ように、アイデアをだし、取り組んでいます。

【CS共有目標】
育てよう！生きる力と、もやいの心をもつ子ども

「もやう」とは、くいなどに船をつなぐことです。船をつなぎ止めるために、「もやい結び」を使います。「もやい」には、「支え合う・助け合う、人と人の心をつなぐ」という意味が込められています。

もやい結び

通いたい学校 通わせたい学校 協力したくなる学校を目指しています。

そのために…

- 『**全員リーダー、全員フォロワー**』の校内組織体制を構築しています。
- チーム（全職員）による学校評価書とアクションシートで**取組を可視化**しています。
- 学校の**課題解決のためのアイデアを出し合う学校運営協議会**を目指しています。
- 地域で子どもたちの居場所と出番**をつくることで、大人の居場所の出番を生み、地域の活性化になると信じて取り組んでいます。



セミナーに参加された方々の声



若手教員

『間違っても失敗しても修正してより良いものにしていけばいい』という考え方で、同僚や地域の方と楽しみながらアイデアを出し合っていこうと思いました。



校長

コミュニティ・スクールは、学校経営そのものだと思えて感じました。『サーバントリーダーシップ』『巻き込む仕掛けづくり』を私も意識していきます。



地域学校協働活動推進員

安田先生がとても楽しそうに取組を語られていたのが印象的でした。コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の違いも分かってきました。

「学校支援ボランティアが来てくれる学校＝コミュニティ・スクール」ではありません!



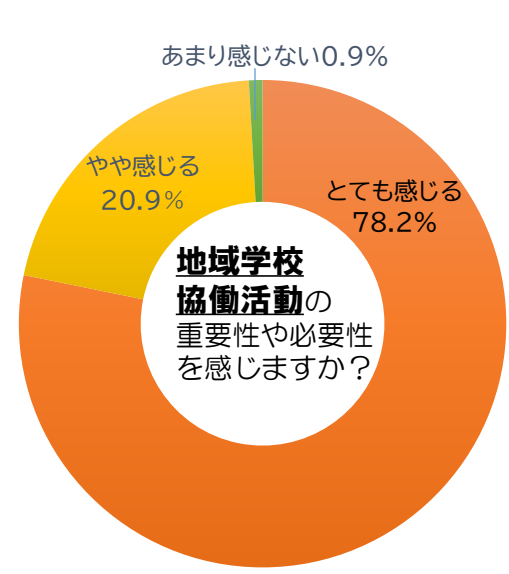
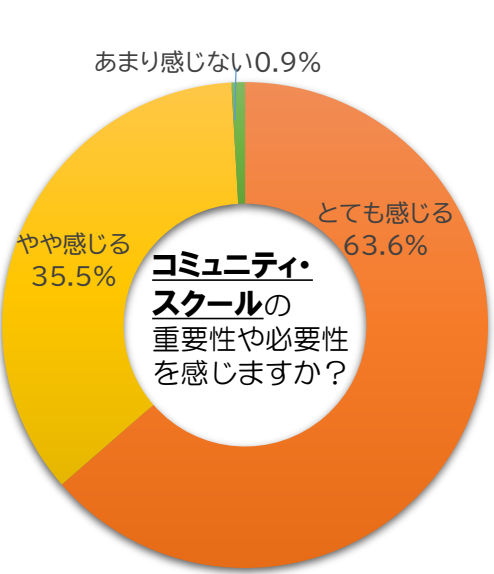
安田校長 (CSマイスター)
 ※「CSマイスター」とは、コミュニティ・スクールに関連した支援や助言を行うために文科省から委嘱されたコミュニティ・スクール推進員です。

こんな校長先生の声を聞いたことがあります。「私の学校は、大勢の学校支援ボランティアに来てもらっています。地域との連携はできているから『コミュニティ・スクール』みたいなものです。改めて『コミュニティ・スクール』化する必要はありません。」
 しかし、「学校支援ボランティアが来てくれ、地域の方と連携している＝コミュニティ・スクール」というのは間違いです。

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会が設置され、教育課程の充実や改善、学習指導や生徒指導の課題対応、学校の行事や学習への地域の参画など、地域の力を活かした学校運営に取り組む学校のことです。つまり、校長の学校経営そのものです。

学校の困り感を地域に相談するというのは、校長の地域連携に対する意識に左右されると思います。学校運営協議会は学校の課題解決のためにあるということを共通理解する必要があると思います。

セミナーに参加した皆さんに聞きました ～事後アンケートを提出した110人の声～



- ・コロナ禍の影響でなかなか活動が進めにくいのが、地域の声を吸い上げる熟議の場を設定したい。(教職員)
- ・先生によって地域とのつながりを大切に思う気持ちがばらばらだと感じている。もっと膝を突き合わせて話をしていきたい。(地域学校協働活動推進員)
- ・学校運営協議会を導入しているが、あまり機能していない。セミナーのような校内研修を開催していきたい。(教職員)



参加者の多くが『地域と学校のつながり』を大切に思っています。
 しかし、「コロナ禍」「教職員の意識改革」「働き方改革」等で悩まれたり、より良くするための方法を模索したりしている方も多いようです。
 この現状や課題について、新たな視点(発想の転換)で考えてみませんか?



そこで **第2回地域学校協働活動セミナーを開催します!!**

皆さん、矢掛町にある「YKG60(一般社団法人 やかげ小中高子ども連合)」をご存じですか? 「YKG60」とは、矢掛町の小中高生が矢掛町をより好きになるために、自分たちのしたいことやできることを見つけて実現している団体です。

その発足や運営に関わっている室 貴由輝氏(元中学校・高校教員 現教育庁高校教育課高校魅力化推進室 室長)を講師に招き、『学校や家庭とは違う地域の評価』や『本物を見る大切さ』『発想の転換』『多世代とのインプット・アウトプットで成長すること子どもたち』等について、実践を交えて紹介していただきます。開催要項は11月中旬に発送予定です。お楽しみに!

【対象者】地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)、公民館職員 教職員、放課後子ども教室関係者、NPO団体、行政担当者 等

オンライン(Zoom)
1.6 木
 13:30-14:30



元教員が語る『地域の重要性』